

# 轉てん 教ぎょう

12  
2019  
Dec.

信のとびら  
お戒壇

12月のご奉公のすすめ

12月のお寺の行事予定

10月のご奉公日誌

高祖会奉修

日晨上人の思い出 その3

今年度のご奉公テーマ「助行のすすめ」

お助行あれこれ 鎌谷信章師

私のよろこび

命の際を

心機一転して

後継者育成活動報告

こどもたちの会

敬いが信心1



佛立本旨講妙應寺

# お戒壇

お戒壇かいだんは、御本尊を奉安するいわば仏壇です。開導聖人はお戒壇と仰ったのですから、戒いましめを受ける場所という意味合いが強いです。お戒壇の中に、四恩報謝しおんほうしゃという意味があります。それは、三三さんぽう宝の恩父母、国王、一切衆生いっさいしゆじやうへの報謝です。過去帳に縁えんのあった方の戒名かみょうを記入して命日に拝むことも四恩報謝のひとつの形です。

御宝前に座る時は、戒を受

けるといふ気持ち忘れてはいけません。お戒壇の前で色々修行をする。その修行の意味は、戒壇ですから個人的なお願ねがいだけではなく、お題目を弘ひろめさせて頂きたいと願う事が大事です。

へ 像法ぞうぼうの持戒じかいは破戒はかい  
 末法まつぼうは折伏しゃくふくするを  
 持戒じかいとぞいいう

とのご教歌があります。戒を

持つといふことは、折伏しゃくふくすることを持戒じかいといふのですから呵責かしやく謗法ぼうぼうといふ願ねがいを持つて座ることが大事です。

つまり、お題目を弘ひろめるといふ願ねがいを第一だいいちとすることです。また、お戒壇に向かう心得こころえとして大切なことはお給仕たまひです。色々な形でお給仕たまひの稽古けいこをするのがお戒壇です。

へ 仏前ぶつぜんの香華灯明こうげとうみょうふき掃除ふきとくすればわが身の福德ふくとくと成なる

とご教歌にあるように、御宝前にお花をあげふき掃除をすることをお題目を弘めることと関連して考えてください。

お戒壇の「壇」とは、御本尊をお祀りする場所です。清浄なところですから、綺麗に保つことが大事なのです。清潔と清浄がお戒壇に対して一番大事です。拭き掃除の他に、お初を取つてあげる、朝はお初水を取りお佛飯をあげる。年中お仕えるのです。これは、お戒壇があつて初めて出来ます。お戒壇を大切にするという心を養うことが大切です。

そういつた心で、朝晩のお

看経に励んでください。

へ朝夕のつとめは

家のいのりなり

いそがしくても

これはやめるな

とお看経が大切なことを教えてください。何を願つて御宝前に座るか、どのような心持ちでお看経するか、今一度考えてください。

へご弘通を大事と

祈る心あれば

よろずのねがい

中にこもれり

とありますから、呵責謗法（かしゃくぼうぼう）ということをして土台にしたお看経があがるようにしてください。

年末は、ご本尊とご尊像のおちり払いお綿掛けの時期です。御宝前に対する敬いの気持ちであらたに、ご弘通の祈りを込めてご奉公させていただきます。



# 12月のご奉公のすすめ

## 今年度の御奉公テーマ「助行」

以信得入を拝見していると、講はこの御指南通りの信心を受御利益感得には懺悔・改良・御利益という流れのあることがすためにも今月は一層お助行にハッキリと読み取れます。本旨はげみましよう。

大士御命日総講に併せて開講記念総講が奉修されます。開導聖人は、安政4年1月12日に4名の信者と共に佛立講を開講なさいました。尚、このお総講に併せて授級褒賞「彰功の記」授与式が行われます。

## 今月の「随喜轉教」

「ご回向は幸せのブーメラン」というパンフレットが出来ました。ご回向の功德で病気の苦しみや人間関係の悩みを解決することが出来ますが、まだそれを知らない方もたくさんいらっしゃいます。このパンフレットを活用して信心のありがたさを伝え弘めましよう。

## 三、関東開教日教上人祥月

### 御命日法要

1月19日 日 10時半より奉修されます。日教上人は、佛立講の関東弘通の基礎を築いて下さったお方です。上人のご苦心をしますのでお参詣させて頂きましよう。

## 令和2年1月の「ご奉公のポイント」

### 一、寒参詣開始

寒参詣は1月6日(月)～2月5日(水)です。勤行は平常通り朝7時から8時半です。ご法門は7時45分、日曜日にはご利益談の

発表があります。教区班内家族の参詣将引に励み、参詣の喜びを皆で体験して下さい。

### 二、開講記念総講

1月13日(月) 祝 10時半より高祖

### 四、諸行事

#### ①元旦会

1月1日(水) 6時半～8時半、六角堂初お看経10時、年始めのお寺参詣と六角堂の日尚

# 12月の寺内予定

日 程	行	事	時刻
1日～7日		開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	日	開講本旨再興祈願総講	10時半
7日	土	運営会議	9時半
		門祖会本部会議	10時半
8日	日	口唱会（担当；第三地区）	9時半
		蓮華会・くんげ会合同御講	10時半
		男性信徒御講申込メ切	
13日	金	高祖大士御命日総講	10時半
14日	土	連合幹事会	9時半
		後続者育成連絡会	10時半
		六角堂初お看経参詣バス申込メ切	
		成人式申込締切	
17日	火	開導聖人御命日総講	10時半
19日	木	寒参詣御供養御奉公者メ切（おにぎり、うどん）	
22日	日	男性信徒御講	10時半
25日	水	門祖聖人御命日総講	10時半
		正副教区長会 第一地区2階ホール/第二地区1階ホール/第三地区和室	12時半
		御炭代・お鏡餅料奉納締切	
		教講ご奉公納め	
25～31日		年末御礼朝参詣	
31日	火	年末御礼御看経（元旦会・初御看経・初総講準備）	夕方4時

上人へのご挨拶は、大切にさせて頂きましよう。

## ② 初総講

1月3日 金 10時半、令和2年の受持講師の紹介と祝杯式、その後12時半から教講初顔合せを行います。

## ③ 成人式

1月26日 日 11時、平成11年4月2日から12年4月1日生まれの方々が対象です。次世代を担う若人の門出を皆でお祝いさせて頂きましよう。

## 寒参詣促進のための

### 標語募集中

寒参詣で家族揃って皆参をめざした標語を募集します。弘通部へご応募ください。素敵な記念品をご用意します。

# 高祖会が奉修されました

## 仏様のみ教え通りの信行を

10月12日の台風19号の影響がしばらく残って前の週は雨模様の日が続きましたが、20日<sup>日</sup>はいい天気にも恵まれました

高祖会は妙法を伝えて下さった日蓮聖人にお礼を申し上げる報恩の法要です。日蓮聖人は仏様の教え通りの信行を伝え遺されたお方です。

うとなさり、そのためなら苦勞もいとわないう精神で、生涯かけて妙法弘通に挺身<sup>ていしん</sup>なさったお方です。

一方で我々末弟が、自分の利益ばかりを求めて信心しては申し訳ないので、少々の苦勞を乗り越えても日蓮聖人の思いにお報いしたい、という気持ちを持ちたいものです。本日の高祖会を機会に報恩御奉公への情熱を思い出していただきたいと思えます。

(第2座ご法門より)



第1座奉修導師 聞信寺住職 志田日堅導師  
第2座奉修導師 妙應寺住職 水谷日在導師 (写真)



404名のお参詣をいただきました。



第二座 日在導師のご法門は HP で聴聞できます



美味しい御供養をいただきました

釈迦如来が最初に説いた方便教を捨てて眞実法華経で修業を

## 如説修行第三段を学ぶ



高祖会企画で、如説修行抄について分かり易い解説スライドを拝見しました。

如説修行抄第三段では「如説修行とは何か」について述べられております。全ての人が御利益の頂ける御題目こそ眞実の教えであると信じて、それ一筋で修行することを「如説修行」だ、ということを解説いただきました。3月、9月のお講席で読み上げる時に思い出していたいただきたいです。

## 令和元年 10月行事報告

1日～7日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間	
1日	火	開講本旨再興祈願総講を午前10時30分より奉修
5日	土	運営会議を午前9時30分より開催
6日	日	高祖会奉修費・御供米料奉納・参詣人数申込締切
13日	日	高祖会無事奉修祈願朝参詣週間
17日	木	開導聖人御命日総講を午前10時30分より奉修
19日	土	高祖会全体会議・準備ご奉公を午前9時より開催
20日	日	高祖会 第一座：午前10時 第二座：午前11時30分より奉修
25日	金	門祖聖人御命日総講を午前10時30分より奉修
		正副教区長会を午後12時30分より開催
		前期納金表提出締切
27日	日	口唱会を午前9時30分より奉修 (担当文教部・第一地区)
		若い人の口唱会を午前10時30分より奉修
		団参聞泉寺バス締切
31日	木	赤い羽根共同募金締切

# 活発な男性信徒と、特別教区の特別御講



男性信徒の交流が計られました



10月は、北海道、長野、大阪で特別御講が奉修されました。北海道の特別御講には、今年から護法委員として北海道を担当されたSさん（前列右から二人目）がお参詣されました。

10月11日<sup>④</sup>、Mさん席にて特別御講が奉修されました。東京からは4名が応援参詣。お孫さんの難産を乗り越えた席主の御利益談、また東京からの参加者による大難をお供水さんとお油さんで小難とした話などで交流をさせていただきました。

（都教区Sさん）

**男性信徒交流助行**（聞泉寺）  
10月10日<sup>⑤</sup>、昨年引き続き聞泉寺との男性信徒交流助行が行なわれました。当日はあの台風19号上陸の前日となり心配いたしました。幸い好天にめぐまれて昨年より多い10名で御参詣することが出来ました。  
当日朝に益田日円導師の義母にあたりますK様（中里教区）が帰寂されたため十分な時間にはあてられませんでした。

## 特別御講 in 北海道

とれませんでした。お看経後に参加者全員で入信の経緯や御利益談をお話しして交流を深めました。  
来年は、聞泉寺を加えた三寺院合同の交流助行を行いたいと考えています。  
**男性信徒御講**  
第二回目の男性信徒御講を12

月22日<sup>⑥</sup>十時半より妙應寺本堂にて奉修させて頂きます。  
去年は57名（御有志のみの方を含む）と大勢の参加をいただくことが出来ました。今年も男性信徒の方はぜひ御参詣下さい。申込は教区で取りまとめさせて頂きますので、役中さんへ早めにお知らせください。



## 特別御講 in 大阪

10月19日⑤、Kさん席での特別御講では、Hさんの三人お子さんたちがご披露やお給仕のご奉公。奉修前に、入院中の上村米子さんを見舞って御導師助行が行われました。

(大井大森教区 Wさん)

**佛立本旨講の信行相続でご奉公をご紹介します！**

福岡教区 次世代育成係 森川信子さん作成のビデオ「わだち」を誌上再現！

このビデオは長野教区と名古屋教区のご協力により編集されたもので、高祖会当日は、本堂入口の大画面ビデオとしてお参詣者のみなさんに見ていただき



前列右二人目からの平T君(中一)、I君(小五)、Kちゃん(小二)らがしっかりご奉公を

ました。

長野教区での2006年の集合写真と、2016年の集合写真



真を使つて、次世代信徒が、次世代信徒の目線で信行相続の歴史(わだち)を紹介しています。はじめてのお花の活け替えの写真では、「わたしもママみたいにできるもん」という得意顔。少し大きくなって、前助行のお塵払いのご奉公もできるよう。そして、子どもたちのお助行の後ろ姿に私たちの未来を感じます。「自ら誇りと喜びに輝く小さな子供たちのご奉公の姿を、まずはご覧ください」と森川さんは語っております。



私は生まれた時に信者になりました。今日に至るまで御法様のご守護のもと過ごしております。十九年前にも膜下出血で緊急入院しました。手術は夕方から翌朝方までかかったそうです。

しかし、くも膜下出血になる以前にお計らいを頂いていたお陰で後遺症もなく軽く済みました。その年の春のお会式の時、接待課でご奉公をしております。ご奉公の合間に、血圧測定を勧められ、測定しました。上が百六十もありびっくりして、翌日病院に行きました。血圧降下剤を頂き服用を始めました。お会式の時に血圧測定をしたことが大きなお計らいでした。

## 渋谷・港教区 Iさん

術後三週間程意識がなく、脳の方はその間ゆっくり回復に向かっておりました。意識が戻った後、今度は感染症です。これには驚き、二週間ほど隔離生活

## 心機一転して

水戸教区は平成六年に発足し、当時は信者数が多かったのですが、十四年頃より信徒数が減少しましたが、いわきの高島さんと「頑張ろう！」と励まして合ってきました。その頃からわが家が親会場のご奉公をするようになりました。六年前に私が病気になったことや、主人が突然勤めを辞めてから信心をする

が始まりましたが、抗生物質と御法様のお守りを頂きました。なんの後遺症も残らず今日に至っております。入院期間中はもとより皆さんの応援祈願、家族の励ましに感謝の思いで一杯です。報恩の思いを忘れずにご奉公に励む思いです。

## 水戸教区 Kさん

ようになりました。主人は失った物は大きかったです。私にとってはこの事はお計らいだと思っております。昨年四月より高橋さん家族六人が引越しされてきてからは、親会場が一気に賑やかになりました。毎日、御参詣に見えるご夫婦、若い息子さん家族が協力し合って御参詣される姿には感激しています。

## 「次世代への橋渡し」

練馬教区 Eさん

教えて頂くことも多く、主人も私も元気をもらっています。また、教区にとっても大きな力となっています。これからも、皆さんと一緒に水戸教区の御弘通発展のために頑張りたいと思

います。今は主人とお寺参詣御講参詣の願いはかないましたが、未だ息子の信行相続が出来ていません。これからも諦めずに御祈願をかけて、進んで行きたいと思います。

Bさんには二人の息子さんと一人のお嬢さんがいらつしやいます。三人とも三十代の働き盛りでお忙しく中々土日休みがなく働いていらつしやいます。しかし、小さいころからボーイ・ガールスカウトでしっかりご信心をさせて頂いたお陰で、今もお参りしたい気持ちはあるそうです。

そこで、場所等細かい事はインターネットのホームページを見て頂くことをお勧めして、10月20日の高祖会にはぜひお参詣して頂けるように、ハガキをお送りさせていただきました。住所も電話番号も教えていただく事がまずは第一歩前進でした。

ご結婚おめでとう  
ございます

結婚言上式が10月27日(日)に本堂及び、二階和室で行われました。新婦は根上信浄師の長女さんです。

言上式のあと、両家のみなさんは六義園へ。  
末永くお幸せに。



# 日出上人の晨日

教務部 根緒泉溪師



昭和51年11月10日

御講尊上人喜寿記念

昭和五十六年十月・五十七年五月と前期、後期にわたって、高祖日蓮大菩薩七百年御遠諱総修大法要が、京都本山・宥清寺にて厳修されました。

日晨上人は当時大法要の最高

責任者として、準備の六年間、隅々まで気を遣われ、総修（本山での大法要）の御法門には殊更入魂されて、御自ら勉強会を開くなどして、報恩の誠を示されたと同っております。

又、後期の大法要の最後のファイナーレでは、京都、宝が池公園に隣接する、国立京都国際

会館に於いて高祖七百年御遠諱に寄せて、特別講演をなさいました。

その講演の中で「今の宗門の現状を見てみると、この先心配で心配でしょうがない、こんな文句があります、『売り家と唐様に書く三代目』』といつて、初代が苦心して財産を遺しても三代目になると繁栄どころか放逸にふけて、商いの道でない

がしろにした為落ち目になってしまひ、遂に家を売り出すようになる。その売り家札の筆跡は唐様に洒落て、中国の様式に似ている、まさに旧家の没落を思わせるこの教訓に、同じ道を歩まぬよう戒めてゆかねばならない。（趣意）」と、お話しになっておられました。

今思えば、先見の明によってこの先宗門は、随他意になつて、仏祖の御心からかけ離れた進み方になつて、三代目の信心にならないよう予言して、警鐘を鳴らしておられたのだと頂く事が出来ます。

この日晨上人のご奉公のお心を頂いて、しっかり開講本旨再興を目指して励ませて頂きましょう。

日晨上人の思い出話、思い出のお写真などをお寄せください。来年度の三十七回忌に向かって準備を進めております。

## お助行での体験

糠谷信章師



お助行が盛んになると、受ける側も何う側も信心増進します。

○大泉教区での事、信者ではない娘婿の運転で娘が大怪我をして、手術が出来なければ一生車椅子の生活になると医者から言われ、教区あげてお縫りの助行を娘の実家で続けました。手術が決まり、思いのほか順調に

いって回復の見込みが出るという良い流れを頂きました。娘の実家の母親が喜んで御礼御講をなさいました。婿も顔を出し喜んではいましたが、ご信者の皆さんの「よくなってほしい」と

の切なる願いや御法様のおかげは少しも思わず、ご信心を見下げた態度がとても残念でした。翌年その婿が酔っぱらって帰宅して二階の階段から落ちて死んだと後日知りました。そして、ようやく娘は懐中御本尊をお迎えてして信心を始める事になりました。

○千葉中央教区のSさん宅にお助行に行くと、いつもお看経をあげています。聞くと「リュウマチがひどく、しかし既に固まって痛くはないが思うように動けないので一人では出られません。けれど、娘がご奉

公に出ている間中、応援のお看経のご奉公をしています。」と話して下さいました。その時は、年寄で時間が有るからできると気楽に受け取りましたが、翌年の受持ちの年配者にこの話をすると「とんでもない、年寄はおしりの肉も減り、十五分も座っていただけません」との返事でした。本当に申し訳なく反省いたしました。あらためて、どんな悪条件にも負けず生涯ご奉公の強い思いで生き抜く信者の強さを教えられました。

お助行を盛んにして多くの体験を重ねましょう。

# ★こどもたちの会★

## 「敬いが信心」



法城護持の現状について〜高祖会でのごあいさつより

この本堂は平成27年9月15日所有権移転によりお計らいを頂きました。本物のご信心をさせて頂きなさいと言う現証利益を見せて頂きました。

当時金融機関より借入した資金は、20年の長期ローン。皆様の御有志で今月、丸4年目で五分の一を返済させて頂くことが出来ました。

まだ先は長いですが今後ともご弘通隆昌発展のため力強い御有志で、法城護持のご奉公をよろしくお願いします。

事務局長 山本久男



# 轉教

令和元年 12月1日発行 第20巻第12号 通算238号  
編集兼発行人 山本久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11  
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



[info@myooji.com](mailto:info@myooji.com)

題 字：水谷日尚上人  
表紙絵：モデル ロン号 (世田谷教区・Oさん)